

第 2 回地域スポーツクラブ活動ワーキンググループ

部活動の地域移行に向けた 北見市の取組について

令和6年 9 月 1 8 日（水）

北見市教育委員会

説明内容

- ・ 北見市が進める部活動の地域移行の経過（令和4年度～6年度）
- ・ 児童生徒数の推計（見込）
- ・ 北見市立学校における部活動の地域移行に関する方針
- ・ 部活動の地域移行に向けた北見市モデル
- ・ 部活動の地域移行 今後の予定
- ・ 教育委員会の支援
- ・ まとめ

北見市が進める部活動の地域移行の経過

令和4年度

4月 部活動の地域移行検討プロジェクトチーム設置

7月 「部活動の在り方検討支援アドバイザー派遣支援事業」講演会

9月～中体連専門委員会、文化関係団体、関係団体との意見交換

2月 北見市部活動地域移行に関わる打ち合わせ会議

北見市の部活動地域移行のポイント

【令和4年度の計画】

- すべての部活動を地域クラブ活動に移行するのではなく、
学校の部活動として残すものもある
- 土日に限らず、平日も含め部活動の運営主体を可能な限り、
学校単位から地域単位へ移行する

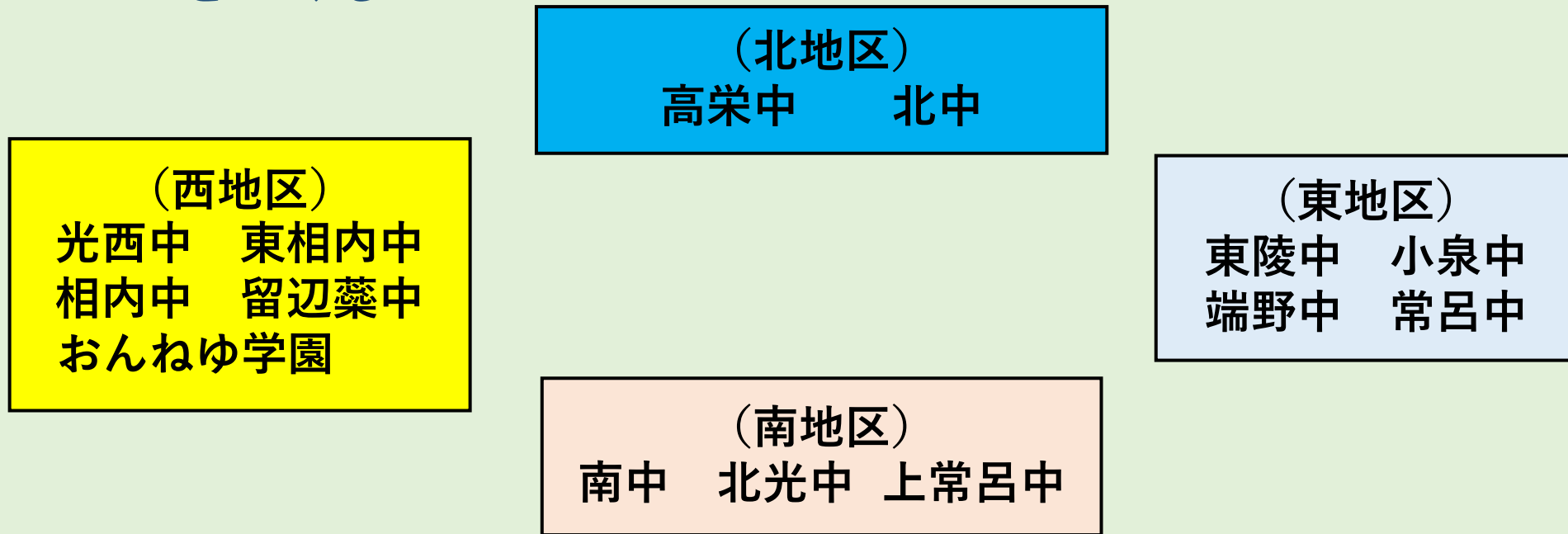
①学校に部活動を残して活動する

競技人口の多い運動系の個人競技や文化系の部活動は、
身近な場所で活動ができるよう、学校に残して活動する
ソフトテニス、卓球、陸上競技、吹奏楽、美術、演劇など

【令和4年度の計画】

②クラブチームで活動する

ア. 北見市内の中学校を4つの地区に分け、各地区内でクラブチームをつくる



学校規模・競技人口を考慮し、4地区方式で実施

軟式野球、サッカー、男女バスケットボール、女子バレーボール

【令和4年度の計画】

②クラブチームで活動する

イ. チームスポーツであるが、競技人口が少ないため、
北見市内に1つのクラブチームをつくる

男子バレーボール、ソフトボール

ウ. 市内で少年団活動をベースとした活動ができているため、
少年団活動を拡大した形でクラブチームをつくる

バドミントン、水泳、体操、柔道、剣道、
スキー、スケート

北見市が進める部活動の地域移行の経過

令和5年度

4月 専門部署新設

4月～各学校、中体連専門委員会、文化関係団体、関係団体との意見交換

10月 アンケート調査

10月 実証事業「部活動体験会」

11月 プロジェクトチームによる先進地視察研修

1月 北見文化連盟主催～合唱の魅力発見～「ワークショップと発表会」

3月 「北見市立学校における部活動の地域移行に関する方針」策定

モデル的クラブ活動「部活動体験会」

部活動の地域移行に向けた実証事業として3種目の体験会を実施



【サッカーの体験会の様子】
20人の小中学生が参加

【ソフトボールの体験会の様子】
5人の小中学生が参加



モデル的クラブ活動「部活動体験会」



【バドミントンの体験会の様子】
13人の小中学生が参加

バドミントンは最近人気の高い
スポーツで競技人口が増加



合唱の魅力体験「ワークショップと発表会」

北見合唱連盟の協力により、合唱のワークショップと発表会を実施



【ワークショップの様子】
小学生から大学生までが、ジュニアクラスと
シニアクラスに分かれて8回の練習を実施

【パネルディスカッションの様子】
部活動の地域移行に向けた取組や中学校
の現場の状況などについて討論



北見市が進める部活動の地域移行の経過

令和6年度

4月 拠点校部活動の開始（運動部）

4月 北見市地域クラブ活動認定制度の開始

6月 「部活動の地域移行に向けた北見市モデル」作成

7月 北見市立学校における部活動の地域移行に関する説明会

8月 部活動の地域移行に向けたスポーツ指導者研修会

10月～実証事業「スポーツ・文化体験会」

3月 中学生に向けた「スポーツ・文化活動サポートガイド」作成

部活動の地域移行に関する説明会・指導者研修会



【部活動の地域移行に関する説明会】
市内のスポーツ・文化関係団体を対象に
部活動の地域移行に向けた北見市の取組
状況等を説明

【スポーツ指導者研修会】
地域のスポーツ指導者や部活動の顧問等を対象に
スポーツ指導者のあり方と部活動の地域移行に
ついての研修会を実施
(講師:北海道教育大学 岩見沢校 山本理人教授)



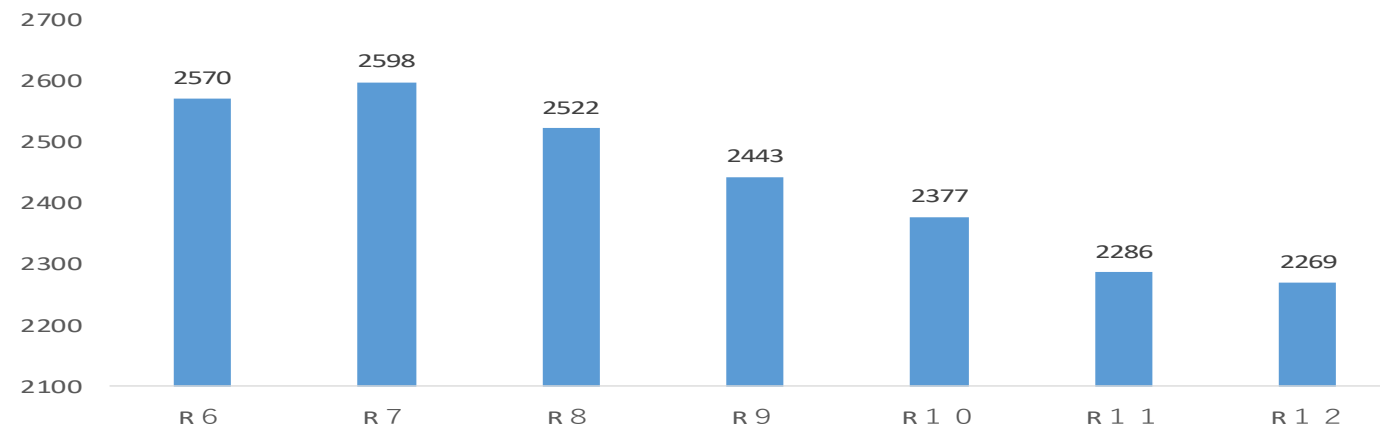
北見市 児童生徒数推計(見込)

令和6年5月1日現在

学年	児童・生徒	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
中3	835	2570	2598	2522	2443	2377	2286	2269
中2	910							
中1	825							
小6	863							
小5	834							
小4	746							
小3	797							
小2	743							
小1	729							

中学校・義務教育学校生徒数見込

令和6年5月1日現在



当初の計画の見直しについて

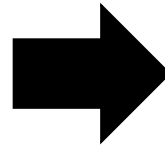
各競技団体や中体連専門委員等との協議により、当初の計画を見直すことに！

< 4 地区方式等の見直し >

～理由～

- ・ 種目によって競技人口が異なる
- ・ 受け皿となる競技団体によって準備や認識に差がある
- ・ 学校に残す部活動と移行する部活動が混在することへの懸念等

再考



< 学校主体の部活動から 地域クラブ活動へ >

- ・ 運営主体の環境が整った種目から地域クラブ活動に移行
- ・ 少年団を拡大した形で地域クラブ活動に移行
- ・ 令和8年度から「短時間エンジョイ型活動」の実施

「北見市立学校における部活動の地域移行に関する方針」の策定
「部活動の地域移行に向けた北見市モデル」の作成

北見市立学校における部活動の地域移行に関する方針

目 次



- 1 はじめに
- 2 国の動向
- 3 北海道における方向性
- 4 北見市の部活動の状況
- 5 部活動の地域移行に向けた具体的取組
 - (1) 地域移行によって期待される効果
 - (2) 部活動の地域移行検討プロジェクト会議
 - (3) モデル的クラブ活動実証事業の活用
 - (4) リーフレット配布とアンケート
 - (5) 拠点校方式による部活動の実施
- 6 部活動の地域移行に向けた今後の方針
 - (1) 地域移行の方針
 - (2) 地域移行のスケジュール
 - (3) 運営体制
 - (4) 地域クラブ活動の指導者
 - (5) 地域移行に係る経費及び支援
 - (6) 地域クラブの認定制度
 - (7) 活動場所
 - (8) 多様な活動機会と市民周知
- 7 おわりに

部活動の地域移行に向けた北見市モデル

少子化による生徒数減少のため部活動の継続が困難

休日も含めた時間外勤務等教職員の大きな業務負担

近い将来、学校だけでは子どもたちのスポーツ・文化活動機会を維持できなくなる

「北見市モデル」

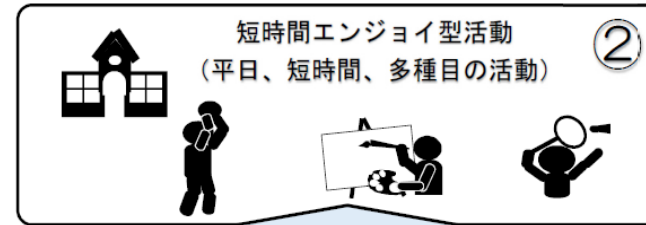
多様なスポーツ・文化芸術活動機会の充実について

大会・コンクール等への参加を希望する
生徒の活動機会
地域クラブ活動等

北見市立学校における部活動改革について

大会・コンクール等への参加を希望しない
生徒の活動機会
短時間エンジョイ型活動

部活動の地域移行に向けた北見市モデルのイメージ



令和8年度の3年生の部活動終了以降に学校の部活動が大きく変わります。

生徒は ①地域クラブ活動等に参加し、中体連や各種大会、コンクール等に出場する。
②学校のエンジョイ型活動に参加する。
③「①②のどちらにも参加しない。」のいずれかを選択することになります。

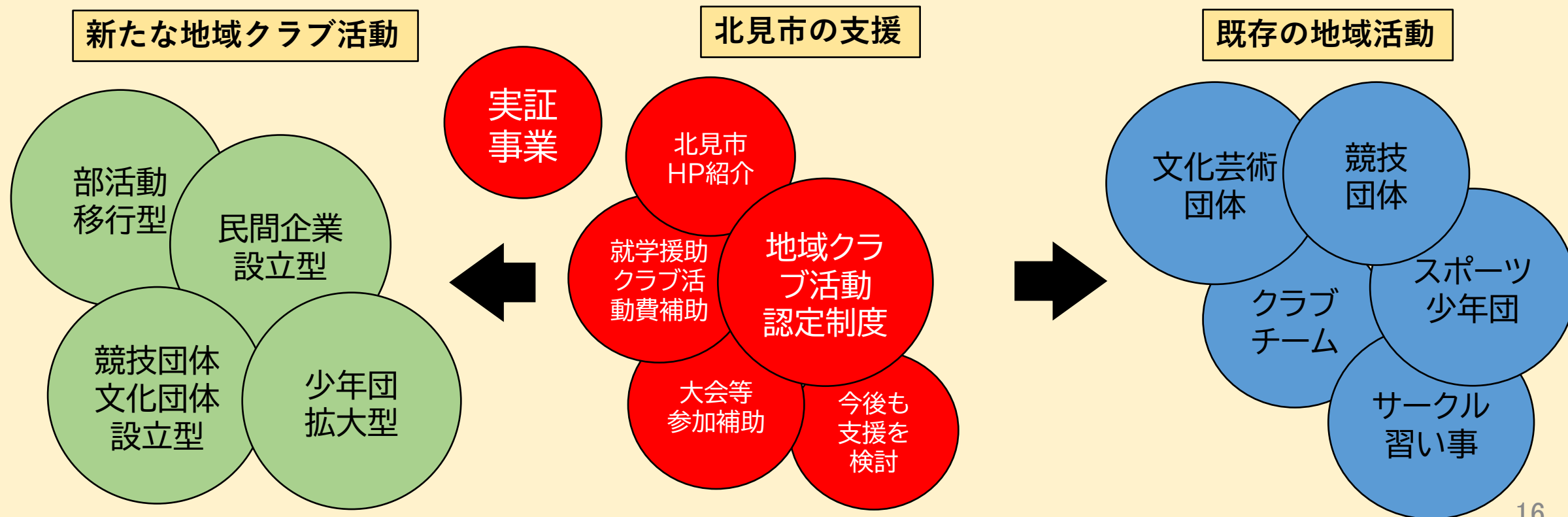




「北見市モデル」

多様なスポーツ・文化芸術活動機会の充実について

大会・コンクール等への参加を希望する生徒の活動機会





「北見市モデル」

北見市立学校における部活動改革について

大会・コンクール等への参加を希望しない生徒の活動機会
短時間エンジョイ型活動

現状の学校部活動

- ・大会やコンクール等の参加
- ・平日 2 時間程度の活動
- ・休日 3 時間程度の活動

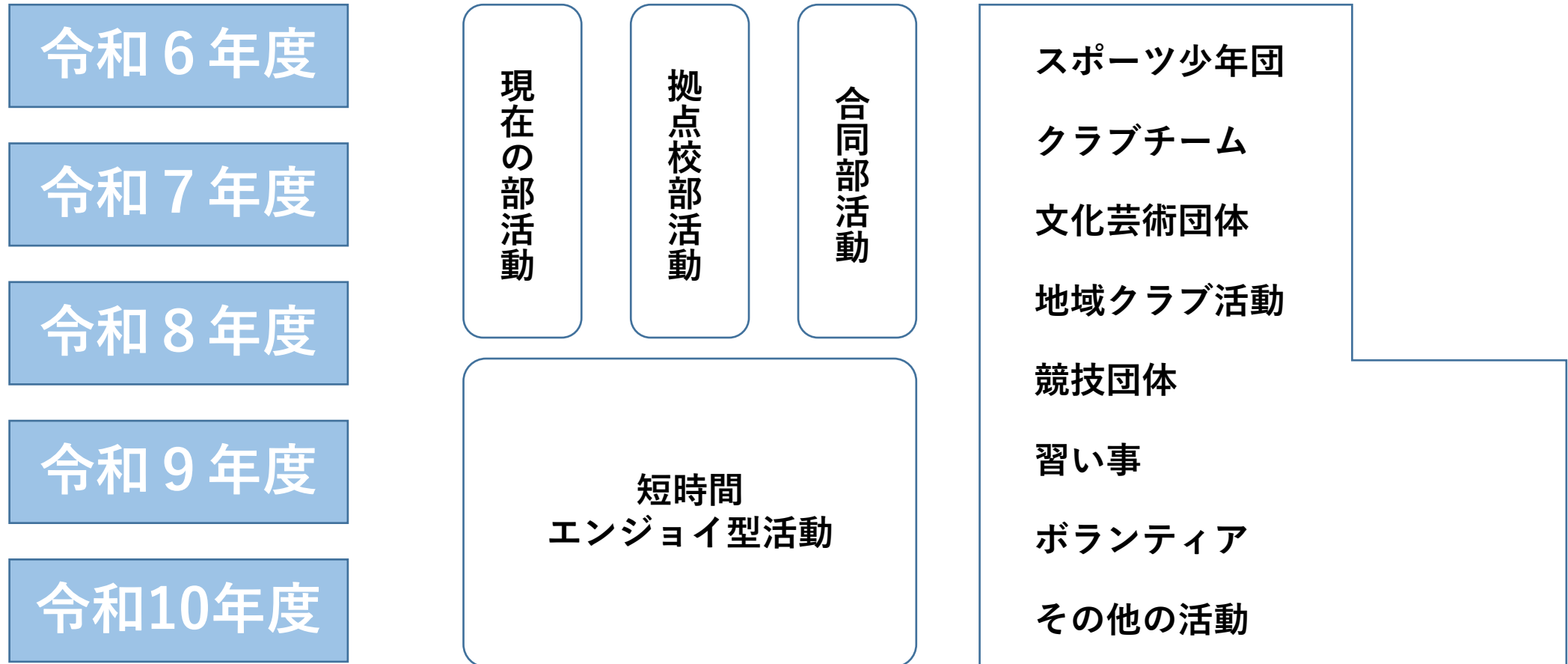


短時間エンジョイ型活動

- ・大会やコンクール等の参加を希望しない生徒の活動
- ・学校施設で短時間（教職員の勤務時間内）の活動
- ・平日放課後のみの活動

令和 6年度	部 活 動	3 年生活動終了
令和 7年度		
令和 8年度		
令和 9年度	短時間エンジョイ型活動 第 1 期	
令和10年度		
令和11年度	短時間エンジョイ型活動 第 2 期	

部活動の地域移行 今後の予定



※令和8年度以降、地域の活動が活性化

教育委員会の支援

①「北見市地域クラブ活動認定制度」について

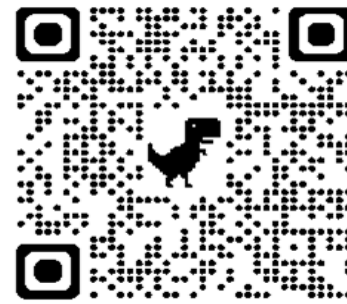
北見市立学校における部活動の受け皿として、北見市地域クラブ活動に認定し、支援することにより、中学生等のスポーツ・文化芸術活動に親しむ環境の充実を図るとともに、生涯スポーツ・生涯学習社会の実現を図ることを目的とする。

<認定の要件>

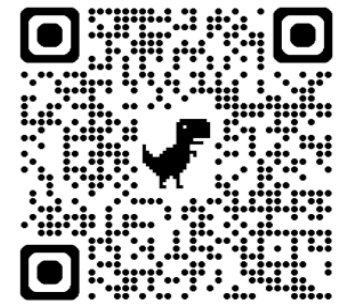
- ・部活動の地域の受け皿として、中学生等を対象にスポーツまたは、文化芸術活動を行い、専門性の高い指導を目指すこと。
- ・「北見市立学校における部活動の在り方に関する方針」に沿った活動(休養日・活動時間については遵守)であること。
- ・北見市内の社会教育施設等の公共施設または学校施設を活動の拠点としていること。
- ・地域クラブに参加する会員(中学生等及び保護者)が自由に加入及び脱会できること。また、脱会の際には会費等の取り扱いを明確にしておくこと。
- ・団体の規約、年間活動計画、年間収支予算、役員名簿等を整備していること。
- ・会員から運営に必要な会費等を徴収していること。
- ・営利を目的とした団体でないこと。
- ・中体連等の各種大会は、地域クラブとしての参加を原則とすること。

認定地域クラブ活動への支援

- ・各種大会、コンクール等への参加補助
- ・就学援助世帯へのクラブ活動費の給与
- ・北見市ホームページでの活動紹介



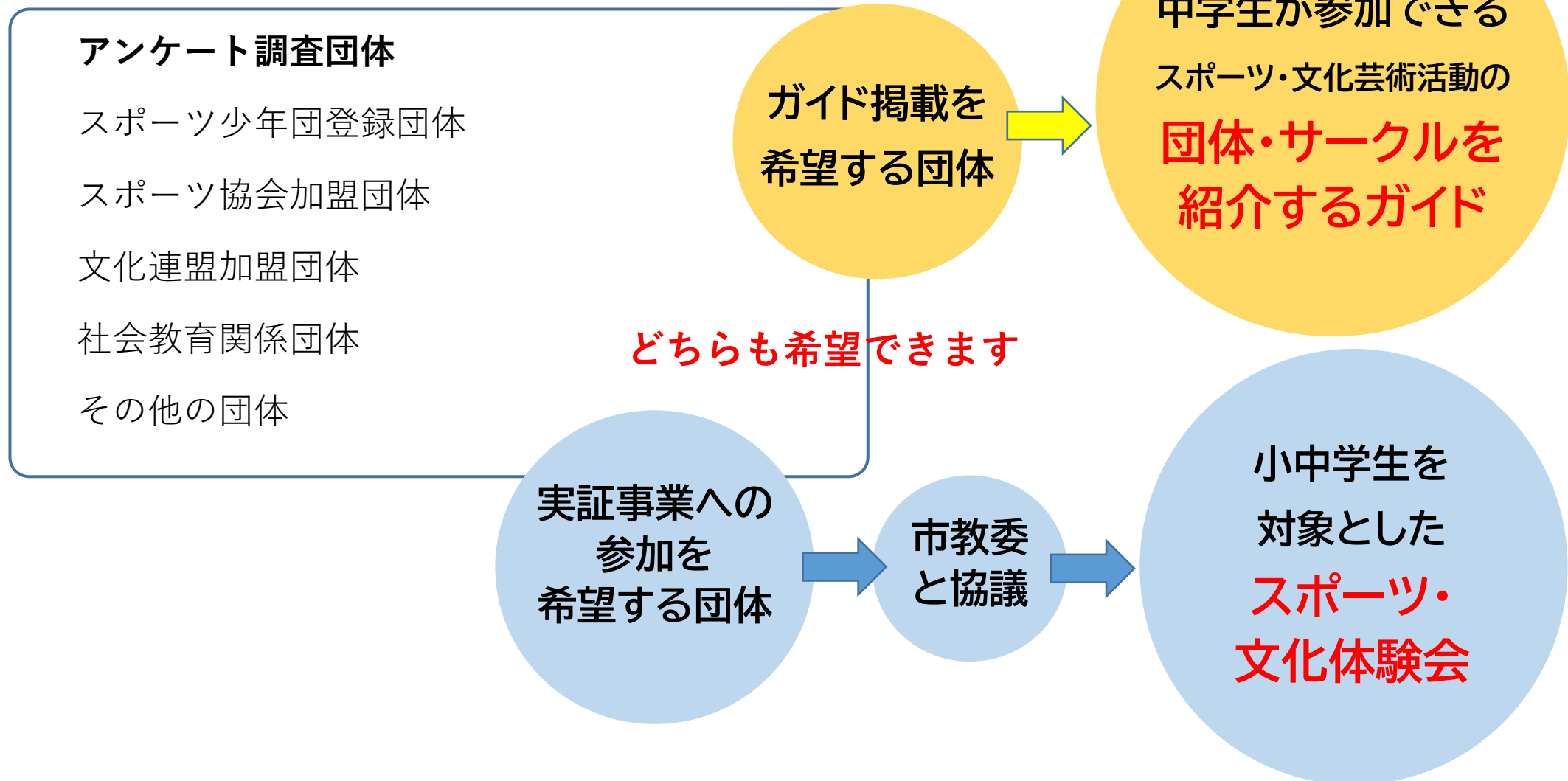
北見市地域クラブ
活動認定制度



北見市認定地域
クラブ活動の紹介

教育委員会の支援

②「スポーツ・文化芸術活動サポートガイド」の作成について



教育委員会の支援

③令和6年度実証事業「スポーツ・文化体験会」について

市内各スポーツ・文化団体にアンケート調査



関心を示した団体と協議



参加団体決定

※教育委員会は参加者募集、申込受付と講師謝礼、消耗品費、保険料を支出
※参加団体は当日受付と運営・指導、参加費徴収

令和6年度実証事業

- スポーツ・文化芸術活動から多様な種類の教室を開催
- 参加者負担 200円/回
- 対象は小5～中3
- 冬季休業日以外は主に休日実施
各団体3回程度実施

④令和7年度実証事業「モデルクラブ活動」について(予定)

中学校部活動に関係する団体の参加希望を把握



参加希望団体と協議



参加団体決定

令和7年度実証事業

- 中学校の部活動にある種目や活動を中心にモデルクラブ活動を開催
- 参加者負担 300円程度を予定/回
- 対象は小6～中2
- 主に休日3～5回実施

ま と め

北見市が目指す部活動の地域移行

部活動の地域移行検討プロジェクトチームを中心に協議

注目

- ・学校関係者や関係団体との話し合いによる計画の見直し
- ・各スポーツ・文化団体等への説明や情報発信による合意形成



重要

「地域におけるスポーツ・文化芸術活動の充実」

「学校における部活動の改革」

子どもたちが生涯にわたって継続してスポーツ・文化芸術活動に親しむことができるよう、多種多様な活動機会の環境整備

ご清聴ありがとうございました

